

プラン・インターナショナル南スーダンからの主要メッセージ

南スーダンの人道状況の概要

- ・ 2023 年、南スーダンは、食料不安、頻発する洪水、コミュニティ間の暴力、感染症により、最悪の人道危機に見舞われているが、最も影響を受けているのは子どもたちである。南スーダンでは、人口の 4 分の 3 超にあたる 940 万人¹が人道支援を必要としているが、そのうち 500 万人は子どもであり、その 310 万人²は緊急に保護が必要な状態にある。
- ・ WFP と FAO が発表した 2023 年 6 月～11 月についての見通しによれば、南スーダンは世界で最も深刻な食料不足が懸念される 8 カ国のひとつである³。11月に発表された IPC 報告書⁴に基づく最新の推計によると、2023 年 9 月～2024 年 7 月の予測期間において、583 万人（人口のほぼ半数）が高いレベルの急性食料不安（IPC3 以上）に分類され、ジョングレイ州とユニティ州では IPC4（緊急事態）に 164 万人、IPC5（大惨事）に 3 万 5 千人が分類されている。推定 165 万人の 5 歳未満の子どもが急性栄養不良に苦しんでいる。
- ・ 農耕牧畜が主要な産業である南スーダンは、最も気候変動の影響を受けやすい国のひとつである。気候危機は、洪水による破壊的な影響を拡大させている。洪水は予測不可能で、長期化、激甚化し、国土の 3 分の 2 に被害を与えている。洪水は生計、農作物、家畜に損害を与え、人びとの避難を余儀なくさせ、教育へのアクセスを妨げ、被害を受けた家族に心理社会的苦痛を与え、安全な水へのアクセスを減少させ、命を救う人道援助へのアクセスを妨げている。
- ・ 最も被害を受けているのは、社会的弱者である子どもや 思春期の女の子、女性、高齢者、障害者、到達しにくい遠隔地に住むコミュニティ住民である。ジョングレイ州、ユニティ州、上ナイル州、大ピボール行政区が洪水の被害を最も受けており、被災者の 4 分の 3 を占めている。また、北東部と南東部では局地的な干ばつが発生しているか、その危険性がある。
- ・ 2013 年以来、南スーダンは武力紛争、断続的に発生するコミュニティ間の暴力、局地的暴力にも見舞われており、その結果、国土全般の治安の悪化、強制移住、保健施設、学校、子どもや思春期の女の子、女性のための安全なコミュニティスペースなどの、重要なインフラが破壊されている。これは、教育（特に女の子）、保健、WASH（Water, Sanitation and Hygiene:水と衛生）、保護支援へのアクセスに壊滅的な影響を及ぼしている。
- ・ また、持続的な食料生産と生計活動を阻害し、人々が安全に耕作地にアクセスできないようにすることで、急性食料不安と栄養不良を悪化させている。

¹ <https://www.unocha.org/south-sudan>

² <https://reliefweb.int/report/south-sudan/south-sudan-food-security-and-livelihoods-cluster-advocacy-brief-protecting-children-south-sudans-food-security-crisis-july-2023>

³ <https://www.wfp.org/publications/hunger-hotspots-fao-wfp-early-warnings-acute-food-insecurity-june-november-2023#:~:text=FAO%20and%20WFP%20warn%20that,at%20the%20highest%20concern%20level>

⁴ <https://reliefweb.int/report/south-sudan/south-sudan-ipc-acute-food-insecurity-and-acute-malnutrition-analysis-september-2023-july-2024-published-november-6-2023>

- ・ 洪水や治安の悪化による大規模な移住⁵に加え、最近のスーダン危機、近隣諸国の南スーダン難民への食料配給の削減が相まって、避難民、帰還民、受け入れコミュニティの間の緊張を全国的に悪化させ、ほとんどの国内避難民や帰還民の家族は、土地、住宅、財産権へのアクセスが制限されてしまっている。スーダン危機以前から既に避難民となっていた 220 万人の国内避難民に加え、2023 年 4 月以降、約 40 万人の帰還民・難民が入国し、ウガンダ、エチオピア、コンゴ民主共和国、ケニアからも南スーダン難民が帰還し続けており、基本的な社会サービスにさらなる負担をかけている⁶。
- ・ 経済的困難に加え、こうしたショックが重なった結果、特に都市部以外では、基本的なサービスへのアクセスが非常に制限されている。南スーダンの人口の8割は農村部に住んでいる。国内避難民は、生計が中断され、社会的保護が根こそぎ失われているため、とりわけ脆弱な状態にある。
- ・ 南スーダンの人びとは、深刻な保護リスクに直面している⁷。コミュニティ間の暴力は常態化しており、家畜の略奪、村や避難所の焼き討ち、子どもの徴用や強制された早すぎる結婚(CEFM)を引き起こす子どもの拉致を引き起こしている。女の子の 52%⁸が 18 歳未満で結婚している。10～14 歳の子どもの 46%が児童労働に従事している。さらに、女の子と女性は紛争に関連した性暴力に直面しているか、その危険にさらされている。民間人に対する暴力の増加も懸念される⁹。避難した子どもは、特に家族から引き離された場合、より大きな保護リスクに直面し、教育や保健サービスへのアクセスを失う可能性が高い。
- ・ 南スーダンの障害者と高齢者は、しばしば排除され、サービスや保護へのアクセスにおいて複数の課題に直面している¹⁰。コミュニティ活動への参加が妨げられ、収入を得る機会、職業訓練、教育を受けられない差別に直面している。特に障害のある女性は、障害のない男性や女性に比べて、サービスや社会的支援へのアクセスにおいて、ジェンダーや障害に関連した格差があるため、脆弱性が高まっている。
- ・ また、子どもたちは、政府、ドナー、当局による慢性的な資金不足が続く教育への多くの障壁に直面している。280 万人の子ども(その大半は女の子)が学校に通っておらず¹¹、これは学齢児童の 70%超であり、世界で最も高い割合である。学費は依然として最大の障壁である。学校のほぼ 4 分の 1 が仮設シェルターや木の下で授業を受けており、ほとんどの教師は十分な訓練を受けておらず(ユネスコの報告書 2022 年)、学校1校あたりの女性教師の数は非常に少ない。そして、大半の学校は、適切な WASH 設備を備えていない。暴力、洪水、貧困、CEFM はすべて、南スーダンの子ども、特に女の子の教育を阻む要因となっている。同国の飢餓危機の結果、女の子は 10 代の妊娠や CEFM のリスクが高まり、教育、正常な発育、保護、一般的な幸福へのアクセスが脅かされている。

⁵ <https://www.internal-displacement.org/countries/south-sudan>

⁶ <https://dtm.iom.int/node/25851>

⁷

<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiaMDg3NThiN2MtYzI4My00OTE0LThhNWMTNjIxN2NhZjZyQyMDI4IiwidCI6ImU1YzZM3OTgxLTy2NjQtdEzNC04YTBiLTk1NDNkMmFmODBiZSIsImMiOiJh9>

⁸ <https://www.girlsnotbrides.org/learning-resources/child-marriage-atlas/atlas/south-sudan/>

⁹ <https://reliefweb.int/report/south-sudan/unmiss-brief-violence-affecting-civilians-april-june-2023>

¹⁰ <https://www.globalprotectioncluster.org/publications/1610/reports/protection-analysis-update/south-sudan-protection-analysis-update>

¹¹ <https://www.unicef.org/southsudan/what-we-do/education>

- ・ 全国的に、医療サービスや清潔な水へのアクセスが限られていることに加え、深刻な食料不足が、特に子どもの健康リスクを高めている。伝染性疾患の発生はよくあることで、同国における子どもの死亡原因の約 75%は、下痢、マラリア、肺炎などの予防可能な疾患によるものである¹²。妊産婦と新生児の保健サービスへのアクセスは依然として困難で、同国の妊産婦死亡率は出生 10 万人当たり 1223 人と最も高く¹³、新生児死亡率と 5 歳未満児死亡率も最も高い。
- ・ 2023 年 4 月以来、スーダンの紛争は南スーダンの人道状況を悪化させるばかりである。30 万人超の南スーダン帰還民とスーダン難民が国境を越えて南スーダンに流入しており¹⁴、その大半は北東部のレンクから流入している。人道支援組織や政府当局は、新たに到着した人々(1 日あたり 1,300~1,800 人)の受け入れに苦慮している。国境を越えた人々の多くは、2005 年の和平合意以前に当時のスーダン南部での戦争から逃れてきたか、2013~18 年にかけてのコミュニティ間の暴力から逃れてきた人々である。
- ・ レンクのトランジットセンター(最大 4,000 人を受け入れる予定だったが、今年初めには最大 12,000 人を収容した)では、過密状態、洪水、伝染病、適切なシェルターや食料、保健サービスの欠如など、人道条項は悲惨なものとなっている¹⁵。人々は移送を切望しているが、洪水、輸送手段、資金の問題から、レンクや、マラカルをはじめとする国内の他の中継地点で渋滞が発生しており移送は困難である。
- ・ レンク南西部では、2023 年 6 月にマラカル民間人保護施設で激しい衝突が発生し、少なくとも 20 人が死亡、数百のシェルターが破壊され、さらに避難民が発生した¹⁶。統合的なジェンダーに基づく暴力(GBV)の予防と対応サービスを提供するワンストップセンターや女性や女の子に配慮したスペース作りは、帰還者の流入が多いため、ままならない状況にある。

プランの対応

- ・ プラン・インターナショナルは 2006 年以来、南スーダンで多部門にわたる統合的な人命救助の人道支援、レジリエンス(回復力)、社会的結束のためのプログラムを提供しており、上ナイル州、ラケス、東部および中央エクアトリア州、グレーター・ピボル行政区の 22 の郡で活動している。主なサービスには、GBV サービスと総合的な子どもの保護、教育、ユースの雇用と起業のためのスキルと機会、性と生殖に関する健康と権利(SRHR)、栄養、シェルター支援、食料支援などがある。
- ・ 私たちは、女の子、男の子、ユース、そしてそのコミュニティが、暴力や有害な慣行から安全に守られ、教育や年齢やジェンダーに応じた保健サービスを受けることができ、生計の機会を得られるように取り組んでいる。私たちは、被災したコミュニティ、政府、組織、その他の利害関係者と協力してサービスを提供している。

¹² <https://www.unicef.org/southsudan/what-we-do/health>

¹³ <https://genderdata.worldbank.org/countries/south-sudan/#:~:text=1%2C223%20women%20die%20per%20100%2C000,is%20%2D%2D%20its%20regional%20average.>

¹⁴ <https://dtm.iom.int/node/25851>

¹⁵ <https://plan-international.org/blog/2023/10/12/fleeing-violence-sudan/>

¹⁶ <https://reliefweb.int/report/south-sudan/situation-report-malakal-conflict-induced-displacement-due-violent-clashes-malakal-poc-23-june-2023>

- ・ スーダン紛争が南スーダンに及ぼす影響に対応するため、プラン・インターナショナルのレンクとマラカルの両地域における人道支援として、子どもの保護、シェルター、教育、現金プログラム、心理社会的支援、非食料品、衛生啓発を行っている。
- ・ プラン・インターナショナルの南スーダン事務所の最終的な目標は、危機に見舞われた女の子と男の子がレジリエンスを持ち、安全で尊厳のある権利、特に保護、保健、教育に対する権利を実現し、経済的エンパワーメントの機会を増やすことだ。

運営上の障壁

- ・ 年末まであと3カ月しかないのに、南スーダンに対する2023年人道対応計画¹⁷は半分強の資金しかなく、スーダン危機に対する地域難民対応計画は4分の1未満の資金しかない¹⁸。人道支援組織は、プロジェクトの規模を縮小するか、完全に終了せざるを得なくなっている（例えば、WFPは巨額の資金不足を理由に、2024年のプロジェクトをほぼ半減させようとしている）。人道資金が枯渇する中、スーダン紛争からの帰還者の流入により、ニーズは高まるにも関わらずである。
- ・ また、私たちの組織が直面する人道的アクセスの障壁もさまざま。南スーダンでは、人道支援従事者は、多くの安全保障上のリスクに直面している。Aid Worker Security Data Baseによると、南スーダンは人道支援従事者にとって最も危険な場所であり、スーダン、ソマリア、ウクライナがそれに続いている。
- ・ 全国的に道路事情が悪いため、救命のための人道物資の配送や配給が滞り、（空輸や水上輸送による）物資の輸送コストが高くなっている。雨季が続くなか、2年以上引いていない洪水も含め、国中で広範囲に及ぶ洪水の影響により、道路状況はさらに悪化することが予想される。
- ・ 私たちはまた、全国各地にある（公式・非公式の）検問所で支払いを要求されたり、煩雑な官僚的プロセス、特に現地事務所での採用プロセスへの干渉といった形で、官僚的・行政的障壁に直面している。

ドナー、政府、人道支援活動家への行動要請

資金調達

- ・ 南スーダンの人道対応計画における資金ギャップを埋めるため、柔軟性のある複数年の資金を提供し、部門（保護、教育、食料安全保障、保健を含む）を超えてジェンダーと年齢に配慮した介入を行うこと。
- ・ 飢饉の一步手前の164万人を含む、IPC3以上の人口のほぼ半数の命を救うため、食料安全保障と栄養のための資金を増やすこと。
- ・ スーダンの紛争から逃れてきた人々に基本的なサービスを提供するだけでなく、あらゆるタイプの流入してきた人々の、迅速かつ効率的な輸送を提供し、過密状態や中継地での業務の中断を防ぐため、スーダン危機に対する地域難民対応計画に十分な資金が投入されるようにすること。

¹⁷ <https://fts.unocha.org/countries/211/summary/2023>

¹⁸ <https://fts.unocha.org/plans/1154/summary>

保護と教育

- ・ 保護を中心に据え、被害を受けた人々への説明責任を果たし、子どもの保護と GBV の予防と対応に特化したサービスを通じて多様なニーズに対応するため、ジェンダー、年齢、障害に包括的に対応した多部門のプログラムを確実にすることにより、子どもの保護のための特別な措置を通じたものを含め、すべての民間人の保護を優先すること。
- ・ 保護リスクを軽減し、保護ニーズに対処し、メンタルヘルスと心理社会的支援、ケース管理、家族の追跡と再統合、コミュニティベースの子どもの保護、GBV の予防と教育など、耐久性のある保護解決策を促進する取り組みを求める。
- ・ 国際人道法を尊重し、子どもに対する「6 つの重大な侵害(子どもの徴用と利用、殺傷、拉致、レイプその他の性暴力、学校や病院への攻撃、人道的アクセスの拒否)」の防止と終結に積極的に取り組むこと。
- ・ すべての子どもたち、特に女の子と障害のある子どもが、包摂的で質の高い教育を受けられるようにし、「安全な学校宣言」¹⁹の完全実施に取り組むことによって、初等・中等教育を無償化するという政府の最近の決定を土台とすること。

コミュニティのレジリエンス

コミュニティのレジリエンスを強化し、地元の能力を構築し、社会的結束を促進するような方法で介入が行われるようにする。

- ・ 緊急事態への備えと早期警報システムを一層重視すること。
- ・ 社会的結束と包摂的な平和の取り組みを促進すること。これには、コミュニティレベルでの和解と対話を通じて分断の解消を図り、子どもやユースが主導する紛争予防と平和構築のイニシアティブを支援するほか、紛争予防のイニシアティブについて、当局や他の人道支援アクターと協力することが含まれる。
- ・ 真に公平なパートナーシップ、地元主導の対応の促進、地元や国のアクターの能力強化、出口戦略、人道資金の少なくとも 25%を地元や国のアクター、特に女性やユースが主導する組織に割り当てるというグランドバーゲンの公約を満たすことを通して、ローカリゼーションを優先させ、介入の計画段階を含め、より効果的で持続可能なサービスを確保すること。
- ・ 最終的な義務履行者として、政府は基本的なサービスを提供し、市民が参加する場を創出する上で、より大きな役割を果たすことが求められる。
- ・ 季節的な洪水に依存する生計を守りながら洪水の影響を軽減するため、資金や技術的な専門知識を通じて気候変動への適応への支援を強化すること。

¹⁹ 子ども、教師、学校をよりよく保護し、戦時中の教育の継続を支援し、また、学校の軍事利用を防ぐため、措置を取ることを約束するもの。2019 年 11 月時点で 100 カ国・地域が賛同・署名している。



人道的アクセス

- ・ 人道支援従事者が危機的な影響を受けている人びとを支援する能力を向上させるとともに、人びとが人道支援や保護にアクセスする能力を向上させること。人道支援従事者の安全を確保し、官制的・行政的な障壁を取り除き、洪水や治安の悪さ、道路インフラの不備のために支援が届きにくい地域へのアクセスを容易にすることで、国全体にわたる自由な人道的アクセスを促進する。